

CISPR会議 I 小委員会 第8メンテナンスチーム(MT8) 対処方針(案)

審議項目	審議内容	エキスパートメンバーの対応	審議結果
1. 開会	2021年xx月xx日(x) xx:xx~xx:xx 2021年xx月xx日(x) x:xx~xx:xx Web会議出席者の確認	確認する。	
2. 議事次第の承認	文書: 未入手 <u>CISPR//xxx/DA</u>	寄与文書が適切に掲載されていることを確認後、承認する。	
3. 前回議事録の確認	文書: 未入手 <u>CISPR//MT8/xxx/Shanghai/MM</u> <u>CISPR//MT8/sec8/Shanghai/dl</u> 2019年10月22日(火) 14:30~17:30 2019年10月23日(水) 09:00~17:30 2日間開催された令和元年SC-I上海会議の議事録の確認及び決定した決定事項の確認と各項目の状況について説明される。	令和元年SC-IMT8 上海会議の議事録を確認する。	
4. Edition 2 to CISPR 35			
4.1 CISPR 35の第2版に向けたCDV文書に関する投票結果および各国コメントの審議を行う。	文書: <u>CIS//628A/CC</u> <u>CIS//636/CDV</u> <u>CIS//641/RVC</u> CIS//641/RVCについて、我が国から及び各国からのコメントを踏まえて審議する。  コロナ禍の影響により、MT8は2021年10月にWeb会議にて議論を進める予定である。CIS//636/CDVのコメントにおいて次ステップに進むために解決が必要な主項目は、 1. In direct/direct functions	日本からのコメントの反映状況を確認するとともに、その他、状況に応じて対処する。CIS//636/CDV/の我が国のコメントは下記の通りである。 »にCIS//641/RVC:のobservationの結果を記述する。 1) 我が国は反対。 2) ed:122行~140目次に付則Iワイヤレス機能と付則Lサージテスト、付則Mからバーイメージがなく、D.1,D.2,F.1,G.1からG.7までの図もない。» <b>了承</b> 。 3) ed:647行目 SES の略号が SIP	

	<p>2. Wireless Annex  3. Allow EUT specification for Immunity Criteria  4. Different versions of standards  5. 4% Step Size  6. etc</p> <p>としている。10月のWeb会議では、上記の主項目のうちWireless Annexを最初の主題として議論を進め、進捗状況により他の項目について議論を進める予定である。</p>	<p>Enable Services ではなく、Severely Errored Seconds である。」 <b>了承。</b></p> <p>4) te:694 行目 直接機能と間接機能の扱いについて、わかりやすくするために、シンプルに通信方向で定義したほうがよい。本 CDV では、下記のように直接機能と間接機能との区分けに一貫性がないようにみえる。」 <b>次回議論。</b></p> <p>5) te: 742 行 ルータは Annex F で引用することになり、間接機能として判定される可能性がある。よって、以下の文章は削除すべきである。“However, it is unacceptable to monitor the networking function of a router using this method.” <b>次回議論。</b></p> <p>6) te: 956 行表項 2.4 いくつかのマルチメディア機器は不平衡のポートを持ち、CISPR 24 や IEC 61000-6-1 と同様にサージ試験は平衡なポートだけでなく、不平衡なポートも対象とし、不平衡のポートとする <math>1.2/50(8/20) \mu S</math> の波形で印可する修正をするべきである。」 <b>次回議論。</b></p> <p>7) te :1474 行 Networking Function の性能判定基準において、エラーレートは EUT の仕様に依存し、且つエラー訂正機能は EUT の正常な機能の1つであるため、エラーレート比率の数値だけで性能判定はされるべきではない。5%以外を用いた場合は、用いた値をレポートに</p>	
--	--	---	--

		<p>記述すべきである。» 次回議論。</p> <p>8) te:1490 5%レート以外の評価を許容する機器は、10 Gbit の機器と限定されているが、同じテクノロジーを用いた 2.5Gbps/5GBASE-T 規格 IEEE802.3bz の通信方式(変調方式 PAM16+128DSQ)でも通信方式として、イミュニティ耐性が脆弱になり、5%で評価は通信機能として実現は困難であるため、10Gbit ではなく、2.5Gbit 以上とするべきである。» 次回議論。</p> <p>9) te:2015 行 テクノロジーの発達により、表 1.1 を頻繁に更新する必要がある、これら除外帯域は典型的な例であることを明確にするべきで、典型例であることを表明する記述を入れるべきである。» 次回議論。</p> <p>10) te : 2075 行 EUT が強い指向性を持っていた場合、正当な評価ができない可能性があるため、アンテナの位置関係(距離、偏波)をテストレポートに記述すべきである。(同様 CIS//628A/CC/JP-17) » 次回議論。</p> <p>11) te:2108 行 送信機の性能判定は基準判定レベルの 5%以下になってはならないもしくは、基準レベルから 5%を超えないエラーレートが起こってはならない性能判定基準としている。5%の根拠は、欧州規格の EN 301 489-50 V2.2.1 から、と思われるが、昨今多くのマルチメディア機器に搭載されているモジュール機器で多く使用されている、EN</p>	
--	--	--	--

		<p>300 328 V2.2.2,EN 301 893 V.2.1.1 および EN301489-17 V3.2.2(Draft)で、10%もしくは代替え法を許容している。他にも様々な通信技術において、性能判定基準をすべて同一値とすることは難しい。また、CIS//620/CD にあった5%より小さい数字は EUT の仕様によって使用できるとした文がコメントなしで削除されている。よって、5%は例とし、5%以外を用いた場合は、用いた値をレポートに記述すべきである。» <b>次回議論。</b></p> <p>12) ge : 2396 行目 G.fast について、ITU-T 勧告 G.9700とG.9701では十分な情報ではないため、G.fast についてさらなる情報を得るための文書として、ブロードバンドフォーラム ATP-337 を脚注に追加する。(CIS//628A/CC/JP-10 と同様) » <b>了承。</b></p>	
5. Wireless Annex			
5.1 Wireless Annex	文書: <u>未入手</u>	状況に応じて対処する。	
6. In direct/direct functions			
6.1 Indirect functions Action 5, How to better include the indirect testing of primary functions.  Task Force, Stephen (leader), David, Trev, Simon Andy, Lv Feiyan	文書: direct-indirect.pptx	状況に応じて対処する。	
7. Allow EUT specification for Immunity Criteria			
7.1 Allow EUT specification for Immunity Criteria	文書: <u>未入手</u>	状況に応じて対処する。	
8. Different versions of standards			

<p>8.1 Analyse the differences between edition 3 and edition 4 of 61000-4-6, based upon the differences decide if the reference standard should be updated. Action 10, John Davies, Andy Griffin (+ Japan members)</p>	<p>文書: <a href="#">JP_Makimoto_IEC61000-4-6_20190405.pdf</a> <a href="#">JEITA-IEC61000-4-6.pptx</a></p>	<p>状況に応じて対処する。 Ed4が採用されるべき主張をする。</p>	
<p>8.2 Surges in CISPR35 Action 12 Andy Griffin, Ben Gorini, Fujio Amemiya</p> <p>Develop DC to cover the issues with surges. To possibly include:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Surges on DC ports</li> <li>2. Levels and criteria applicable to CPE/non CPE</li> <li>3. If indoor cables should be tested and for which lengths</li> <li>4. If LAN cables should be tested</li> <li>5. To define if cables that leave the building and attached to devices on the outside of the same building are 'outside cables'.</li> </ol> <p>Action 13, John Davies to send the Japanese papers to TC77 MT12 and ACEC with some supporting information. (still needed)</p>	<p>文書: <a href="#">CISPR35 Surges DC.docx</a> <a href="#">61000 4-5 surge issues.pdf</a></p>	<p>DCの内容を確認して状況に応じて対処する。 &lt;平成31年SC-Iシンガポール会議報告&gt; Gorini氏からDC文書の報告があり、DC文書を発行することになっている。 状況に応じて対処する。 &lt;令和元年SC-I上海会議報告&gt; 次回MT8会議にて審議となった。</p>	
<p>9. 4% Step Size</p>			
<p>9.1 Step Size Action 9, All, provide data from radiated and conducted immunity showing the impact of 4% steps at twice the voltage on EUT which have an immunity response.</p>	<p>文書: <a href="#">CIS/1/612/INF.pdf</a> MT8_BusanArnett_18-01を基にINF文書を作成して Bretz 氏 経由で TC77/WG10に送る。</p>	<p>状況に応じて対処する。 4%ステップは1 GHz~6 GHzの放射イミュニティ試験でも有効か？ GHz帯は1%でやるべきでは？</p>	
<p>10. etc</p>			
<p>10.1 Gambling machines Task force</p>	<p>文書: <a href="#">Gaming machines, specific items.</a></p>	<p>Part1からPart4に関する報告内容を確認</p>	

<p>Trev, John (lead), Amemiya, Christian Kai (Australia) Specifics Part 1. Create a definition of which Gambling machines are within the scope of CISPR32/35. Part 2. definition to be included in both CISPR32/35. Part 3. definition to be shared with CISPR F. Part 4. investigate <a href="http://www.agem.org">www.agem.org</a></p>	<p>Part 1. CISPR 32 / 35のscope内にあるギャンブルマシンの定義を作成 Part 2. CISPR 32 / 35の両方に含める定義 Part 3. CISPR Fと定義を共有 Part 4. <a href="http://www.agem.org">www.agem.org</a>を調査 AGEM: Association of Gaming Equipment Manufacturers</p>	<p>認して状況に応じて対処する。 &lt;平成31年SC-Iシンガポール会議報告&gt; 継続事項であることが報告されたのみである。 &lt;令和元年SC-I上海会議報告&gt; ゲーム機器はSC-Fで対応することとなった。</p>	
<p>10.2 EFTB Issues Action 7, John Davies, to write to MT12 about the issues of repeatability of the 100 kHz EFTB test.</p>	<p>文書: <u>未入手</u></p>	<p>EFTB試験において、繰り返し周波数が5 kHz、100 kHzのどちらが適切であるかの課題に関して、SC77BのMT12に意見照会した結果及びデータについて状況確認を行い、状況に応じて対処する。  &lt;平成31年SC-Iシンガポール会議&gt; 継続事項であることが報告されたのみである。 &lt;令和元年SC-I上海会議&gt; 次回MT8会議にて審議となった。</p>	
<p>10.3 Injected RF Testing Action 8, John Davies, to send data to TC77 about the 1V-3V test justification  John to send the input to peter.</p>	<p>文書: <a href="#">61000 4 6 test levels concerns.pdf</a> コンビナーのDavies氏はRF伝導妨害波レベル3V-1V試験の正当性についてTC77に本文書を提出する。 平成30年CISPR釜山会議にてDavies氏から作業が完了したことが報告された。TC77からの回答待ちである。</p>	<p>ACECからの質問票に対応してコンビナーのDavies氏が本資料を含めた関係資料をBretz氏に送付した。 TC77からの回答について確認を行い、状況に応じて対処する。  &lt;令和元年SC-I上海会議&gt; 次回MT8会議で審議となった。</p>	
<p>11. Future Work</p>			
<p>11.1 Immunity New Technology Leader: Trevor Morsman</p>	<p>文書: <u>未入手</u></p>	<p>CIS/I/620/CDで、G.fastの内容が入っ</p>	

<p>Issues with testing and performance of</p> <p>1. GFast G.Fast and vectored systems.</p> <p>2. 10GB Ethernet over copper.</p>		<p>ており、状況に応じて対処する。</p> <p>&lt;平成31年SC-Iシンガポール会議&gt; 継続事項であることが報告されたのみ。</p> <p>&lt;令和元年SC-I上海会議&gt; 次回MT8会議で審議となった。</p>	
<p>11.2 Broadband testing Leader: Martin Wright</p> <p>Paper to presented at the next meeting.</p>	<p>文書: <u>未入手</u></p>	<p>状況に応じて対処する。</p> <p>&lt;平成31年SC-Iシンガポール会議&gt; 継続事項であることが報告されたのみ。</p> <p>&lt;令和元年SC-I上海会議&gt; 次回MT8会議で審議となった。</p>	
<p>12. AOB</p>	<p>文書: <u>CIS/I/639/DC</u> (CISPR 35における電氣的ファストランジェント試験要求)</p>	<p>状況に応じて対処する。</p>	
<p>13. Dates/venue of next MT8 meeting</p>	<p>次回会議開催日程が連絡される。</p>	<p>確認する。</p>	
<p>14. Close of meeting</p>	<p>コンビナーが出席者に謝意を述べて閉会 (2021年xx月xx日(xx)xx:xx終了予定)</p>		